

# ダイナミックに変化する 南足柄市長 加藤 修平 南足柄市の「今」

南足柄市は今年4月1日、晴れて市制施行50周年を迎えることができました。「道の駅」の開業や「南箱道路」の開通、体育センターの人工芝化、子育て支援拠点施設のオープンなど、この節目にふさわしい活力あふれる環境が次々と整ってきています。



## まちづくりにゴールはない！ 地域の活性化と、 健康的で明るい未来のため、弛みなく歩み続けて参ります。

**道の駅「足柄・金太郎のふる里」が開業** 令和2年6月にグランドオープンして以降、観光客をはじめ大勢のお客様にご利用いただいております。南足柄市だけでなく足柄上地域1市5町、さらには足柄平野の活性化をリードする経済振興、地域振興の拠点です。今まで、来場者数が延べ約140万人に達しています。



**人工芝グラウンドがオープン** 県西部の公共施設で最大規模の人工芝グラウンドが今年4月、体育センターに完成。市制施行50周年記念事業のスタートに位置づけ、オープニングセレモニーを開催しました。市内外から利用者を招き、いすれば社会人や大学生のサッカー公式戦を招致したいと考えています。近くにある「道の駅」と一体となって地域活性化を図り、関係人口や交流人口の増加につなげていきます。

**大雄山駅前に「にこっと」** 新しい子育て支援拠点施設として、駅前ビル「ヴェルミ2」の3階に今年4月オープンしました。子育てに関する相談や窓口が一本化されました。また、国の政策に先駆けて「児童福祉」と「母子保健」を一体化した施設整備となりました。

**小中学校の環境整備** 特別教室のエアコン整備が令和5年度で終了の予定です。これで、全ての小・中学校のエアコンとトイレの洋式化・快適化の整備が完了します。



**加藤 修平**  
(かとう しゅうへい)

昭和24年1月28日生まれ。県立小田原高校、日本大学法学部卒業。南足柄市役所に勤務34年(秘書課長、福祉健康部長、議会事務局長などを歴任)。平成23年4月に南足柄市長となり、現在3期目。



## 令和4年度の市政運営では企業誘致と、脱炭素社会の実現に向けた環境政策を推進しています。

**足柄産業集積ビレッジ構想** 持続可能な市政運営の実現には、将来にわたり安定した税財源を確保し、雇用の場を創出する必要があります。いすれば定住にも結びつくため、市政運営の根幹を成すともいえる重要な事業です。土地区画整理組合の立ち上げや市街化区域編入に向け、各種手続きを進めています。

**脱炭素社会の構築** 今年3月に富士フィルムと東京ガス、南足柄市の三者で包括連携協定を結び、官民連携による取組みを進めています。6月22日には南足柄市ゼロカーボンシティ宣言も行いました。今年度は(仮称)環境フォーラムの開催や環境都市宣言の一新、市内事業所との環境協定の締結などカーボンニュートラルの実現に向けた様々な事業を実施します。

**北足柄地区の活性化** 旧北足柄中学校の跡地が、活性化拠点施設に生まれ変わりました。その名も「北中」です。グラウンドは、すでにキャンプ場として運営されていましたが、今後は旧校舎や周りの自然を生かし、交流人口の創出につなげていきます。

**防災を意識した学校整備** 災害時の指定避難所である学校体育館のトイレを洋式に整備します。



- 定住と人口増を目指す…このために ①子育て支援の一層の充実
- ②企業誘致の実現(塩下・竹松地区とアサヒビール工場撤退後) ③環境政策(脱炭素化)の推進

### 今夏の「足柄金太郎まつり」

これまで2カ年にわたり残念ながら中止にしましたが、今回は8月7日(日)に開催します。感染拡大防止のため規模の縮小はしますが、可能な限り

「いつものように」を目指して、「金太郎まつり」にふさわしく、子どもたちが楽しめる工夫を凝らしてまいります。プログラムの一部をご紹介すると、アンパンマンショー、模擬店、プレイランド、打ち上げ花火など。

